実務経験がある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）
〈省令で定める単位数等の基準数相当分〉
1

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	教育内容	専門分野Ⅰ　基礎看護学（臨地実習）
担当教員	山東　純子　他	単位数（時間）	基礎看護学実習Ⅱ２単位（90 時間）2年次前期
実習目的 および 実習目標	（目的）　1．看護過程展開技術を活用し、健康問題を持つ対象に必要な看護援助を実施するための知識・技術・態度を習得する （目標）　1．コミュニケーション技術及び観察技術を用いて、健康問題をもつ対象の情報を収集することができる 2．NANDA看護診断の領域に沿って情報を分類し、分析・解釈することができる 3．関連図を用いて対象の全体像を把握することができる 4．対象が達成可能な期待される成果及び看護計画を記載することができる 5．対象の健康問題を理解したうえで、対象に適した援助を安全・安楽に実施することができる 6．期待される成果に沿って実施したことを評価することができる 実習要項　参照		
実習施設	病院病棟		
評価方法	基礎看護学実習Ⅱの評価表に基づき評価する。		
教科書 参考書	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔1〕看護学概論　　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ　　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ　　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔4〕臨床看護総論　　医学書院 NANDA－Ⅰ看護診断定義と分類　医学書院 看護技術プラクティス　第４版　　学研メディカル秀潤社 看護過程に沿った対症看護　第５版　Gakken 疾患別看護過程の展開　第６版　　学研メディカル秀潤社		

2

科目名	地域看護実習	教育内容	専門分野　地域・在宅看護論（臨地実習）
担当教員	山本　奈津枝 和久田　幸代	単位数（時間）	2単位（90 時間）　　1 年後期
実習目的 及び 実習目標	（目的）地域でさまざまな暮らし・生活をしている人々と接し、生活者の理解を深め、地域包括ケアシステムにかかる看護のありかたを考える。 （目標）地域で生活する人々と地域包括ケアシステムの関連を深め、地域看護に反映できる基礎的能力を養う。 　実習要項　参照		
実習施設	地域包括支援センター 老人福祉センター 身体障害者デイサービスセンター・身体障害者福祉センター ホームホスピス・みんなの労働文化センター、他 尼崎市立総合老人福祉センターレクリエーション		
評価方法 評価基準	地域看護実習の評価表に基づき評価する。		
教科書 参考書	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の基盤　地域・在宅看護論 1　医学書院 その他　実習状況に合わせて既習学習した教科書、資料、文献を活用する。		

3

科目名	成人・老年看護学実習 I	教育内容	専門分野　成人・老年看護学（臨地実習）
担当教員	西村　理恵	単位数（時間）	2単位（90 時間）　　2 年後期
科目目標	（目的）地域で生活する対象者の健康維持・増進、疾病予防活動の実際を理解し、健康課題と看護の必要性を学ぶ。 （目標）1. 地域で暮らす対象者の生活と健康状態の実状が理解できる。 2. 地域における健康維持・増進支援活動の実際がわかり、健康課題と看護の必要性を考える。 3. 疾病の早期発見に向けた取り組みの実際がわかり、健康課題と看護の必要性を考える。 構成、内容については実習要綱参照		
実習施設	スポーツ振興施設、健康増進センター、地域医療機関、地域健康支援活動の場		
評価方法 評価基準	成人・老年看護学実習 I の評価表に基づき評価する。		
教科書 参考書	系統看護学講座　専門分野　成人看護学〔1〕～〔15〕　医学書院 系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論・救急看護学・がん看護学・緩和ケア　医学書院 系統看護学講座　専門分野　老年看護学、老年看護　　医学書院 看護技術プラクティス　学研 その他、実習状況に合わせて既習の教科書、資料、文献を活用する		

4

科目名	老年看護学実習	教育内容	専門分野　老年看護学(臨地実習)
担当教員	浅田 加枝	単位数(時間)	2単位(90)2 年後期
実習目標	(目的)老年期にある対象を理解し、健康課題をもつ高齢者への看護が実践できる基礎的能力を養う。 (目標) 1. 地域で生活する高齢者の特徴を理解することができる 2. 高齢者の日常生活の自立に向けた援助の必要性を理解し安全・安楽に実践することができる。 3. 高齢者を取り巻く保健医療福祉の役割と連携の必要性を理解することができる。 4. 高齢者との関わりを通して自己の老年観を養うことができる。		
実習施設	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、通所サービス		
評価方法	老年看護学実習の評価表に基づき評価する。		
教科書 参考書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護　病態・疾患論　医学書院 看護がみえるフィジカルアセスメント　メディックメディカ 電子辞書;治療薬マニュアル、症状からみる看護過程の展開 その他、実習状況に合わせて、教科書・参考書を参照する。		

5

科目名	母性看護学実習	教育内容	専門分野　母性看護学(臨地実習)
担当教員	角谷典子・日高　太圭子	単位数(時間)	2単位(90 時間)3年次
科目目標	(目的) 妊婦・出産・育児にかかわる女性の健康課題を理解し、家族を含めた看護が実践できる基礎的能力を養う。 (目標) 1. 妊婦・産婦・褥婦及び新生児の特徴を理解し、家族を含めた対象の看護を学ぶ。 2. 周産期からウィメンズヘルスへ広がる考え方を意識し看護の役割を学ぶ。 構成、内容については実習要項参照		
実習施設	病院病棟、外来クリニック・地域		
評価方法 評価基準	母性看護学実習の評価表に基づき評価する。		
教科書 参考書	系統看護学講座　専門分野　母性看護学1　母性看護学概論　医学書院 系統看護学講座　専門分野　母性看護学2　母性看護学各論　医学書院 その他、実習状況に合わせて既習学習した教科書、資料、文献を活用する		